

令和3年度
北区飛鳥山博物館事業計画
(案)

2021.03

1 令和3年度展示・イベント・講座・講演会事業計画のポイント

(1) 展示事業

○大河ドラマ館の開設に伴う展示会場の変更

令和3年2月20日に大河ドラマ館が当館内に開館した。このことにより会期中および12月26日の会期終了(予定)以後、1月の撤収期間を含めて特別展示室・ホワイエ・講堂の利用が不可能となった。このため会場を3階アートギャラリー第1室に代えて、スポット展示、夏休みわくわく展示、特別展覧会、学校対応事業展示を開催する。なお、令和3年度春季企画展は通常通り、特別展示室において開催する。

(2) 講座・講演会事業

○新型コロナウイルス拡散防止を講じた安全安心な講座の工夫

座学においては会場のキャパシティを考え、応募人数を少なく設定。三蜜を避けるため野外講座の割合を増やした。(一般向け講座27講座のうち15講座)なお、野外講座においてはワイヤレスガイドシステムを用い、距離を保ちながら講師の話を聞くことができるようにする。また、一つの試みとしてYouTubeを利用したオンデマンド講座を行う。

2 展示・イベント・講座・講演会事業数

(1) 展示

企画展	1回
特別展覧会	1回
夏休みわくわく展示	1回
スポット展示	3回
ミニ展示	1回
常設展示室活用展示	1回
計	8回
(令和2年度	4回)

(2) イベント

夏休みわくわく	
ミュージアム	1回
計	1回
(令和2年度	1回)

(3) 講座・催し物

一般向け講座	27講座	34回
展示関連講座	10講座	11回
わくわく講座	9講座	26回
	46講座	71回
(令和2年度	0講座	0回)

令和3年度の事業 ※名称は仮称、実施日・回数は予定。

1. 展示

★ 企画展 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	春期企画展 「だから、そこは人を孤独にしない ～名所と風景のジャポニスム展～」	3月23日(水)～ 5月14日(土)	特別展示室 ホワイエ 講堂	石倉
<p>〈概 略〉</p> <p>幕末維新期に北区を訪れ、さまざまな記録を残した欧米人は、管見でも20人以上を数える。いったい、何が、そして、どこが彼らを引き付けたのか？ 本展の目的は、19世紀末に、ひとつの文明の洗練の極致を極めた日本文化における、自然と人間との関わりを究明するものである。具体的には近世・近代初期の北区における、眺望に優れた名所の姿と、江戸グルメや洗練されたもてなしの場を多数の同時代資料から紹介し、「風景のジャポニスム」の世界を明らかにする。また、地域の工業化と外国人の果たした役割や、王子で作られた高級紙「局紙」がアールヌーボーのファッション・シーンを席捲した様子など、双方向の文化交流のあとを展望したい。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>前近代から近代へと変遷をとげた地域像を、異国人の視点から紹介し、地域の魅力発信の一助とする。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	
<p>〈備 考〉</p> <p>春期企画展は、渋沢ドラマ館終了後の来館者数確保を目標としている。</p>				

★ 特別展覧会 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	特別展覧会「第20回 人間国宝奥 山峰石と北区の工芸作家展」	9月11日(土)～ 10月11日(月)	アートギャラ リー第1室・2 室・閲覧コーナ ー	久保埜
<p>〈概 略〉</p> <p>北区在住の鍛金工芸作家である人間国宝・奥山峰石氏を中心に、北区にゆかりのある工芸作家の作品を一堂に展示する。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>美術工芸分野に関心がある層の新規来館を促す。利用者拡充。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>	
<p>〈備 考〉</p> <p>大河ドラマ館の観覧者を3階へ誘導できるように努める。</p>				

★ 夏休みわくわく展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	夏休みわくわくミュージアム★ 2021「ここがすごいぞ! 渋沢栄一」	7月21日(水)～ 8月29日(日)	アートギャラ リー第1室	工藤
<p>〈概 略〉</p> <p>「夏休みわくわくミュージアム★2021」の一環。大河ドラマ館が開館中のため、家族で訪れた際、子どもたちに渋沢栄一のことを知ることができるよう展示を行う。小中学校の副読本の内容を取り入れ展示に活かす。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>自由研究への素材提供。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>小・中学生</p>	
<p>〈備 考〉</p>				

★ 学校対応事業展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	来て、見て、知って! 昔のくらし展	1月12日(水)～ 2月27日(日)	アートギャラ リー第1室・体 験学習室・閲覧 コーナー	谷口
<p>〈概 略〉</p> <p>小学校中学年の「むかしをしらべる」の単元に対応する事業。館所蔵の大正の終わり頃から昭和の中ごろの生活用具を展示するとともに、館所蔵の古写真を展示し、くらしの変化を紹介する。</p>				
<p>〈ねらい〉</p> <p>昔の人々の暮らしぶりの理解と時代の変化を学ぶ機会とする。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>小学生および一般</p>	
<p>〈備 考〉</p> <p>一般への公開は閲覧コーナーでの展示のみとし、今後の情勢によっては他展示室の公開も視野に入れる。</p>				

★ スポット展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	令和2年度スポット展示 ASUKAYAMA セレクション5★ 2021★	3月20日(土)～ 5月9日(日)	アートギャラ リー第1室	谷口
<p>〈概 略〉</p> <p>収蔵資料の中から、5点に注目して紹介する展示。テーマを「願い」とし、祈願するときに使われたものや祈願の証となったものなど、「願い」に関連する資料5点を展示する。</p>				

〈ねらい〉 収蔵資料の活用。資料の新たな視点の提供。		〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 副担当：鈴木・田中				
2	栄一、西ヶ原一里塚保存に奔走す	5月25日（火）～ 7月4日（日）	アートギャラ リー第1室	山口
〈概 略〉 西ヶ原の住人でもあった渋沢栄一は、「西ヶ原一里塚」の保存に動き、その結果、道路工事で取り壊される運命にあった一里塚は保存され、その地には記念碑も建てられた。国指定史跡「西ヶ原一里塚」がどのように残されたのか、大正時代の文化財保存運動の軌跡を渋沢栄一の活動と共に探る。				
〈ねらい〉 大河館の開館に合わせ、渋沢栄一が北区の住人でもあったことを見学者に伝えるとともに、見学者が北区をめぐりたくなるような意識の喚起を図る。		〈対 象〉 一般		
〈備 考〉				
3	縄文人の祈り	10月26日（火）～ 12月5日（日）	アートギャラ リー第1室	鈴木
〈概 略〉 子供の生と死、そして成長を祈る縄文人の気持ちの表れとして作られた道具を展示する。				
〈ねらい〉 資料から当時の人々の気持ちや祈りを感じとってもらう。		〈対 象〉 一般		
〈備 考〉				

★ ミニ展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	渋沢栄一と北区	令和2年7月23日（木） ～12月26日（日）	常設展示室	石倉
〈概 略〉 民間外交の場・地域との交流の場であった飛鳥山邸の姿、一里塚保存運動に代表される地域の文化財への関心など、渋沢の多面的な活動をパネルで紹介する。				
〈ねらい〉 渋沢栄一と北区の関りについて知ってもらう。		〈対 象〉 一般		
〈備 考〉				

★ 常展活用展示 1回

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	令和2年度常展活用展示 〈回想のための〉テーマ展示「オボエテマスカ?—懐かしの暮らしと道具—」	3月13日(土)～ 6月13日(日)	常設展示室	工藤
〈概 略〉 回想法の手法を導入しながら、当館所蔵の生活用具等の資料を水塚の母屋とその周囲に展示する。				
〈ねらい〉 常設展示を活用しながら、高齢者、特に高齢者施設の利用を促す。			〈対 象〉 一般	
〈備 考〉				

2. イベント

No.	企画展名	実施予定時期	会場	担当
1	夏休みわくわくミュージアム★ 2021	7月21日(水)～ 8月29日(日)	アートギャラリー第1室 常設展示室 体験学習室	工藤
〈概 略〉 博物館で北区の魅力を再発見してもらうために、館内各地でさまざまな催し物を行う。アートギャラリー第1室では「ここがすごいぞ! 渋沢栄一」を実施(概要は夏休みわくわく展示参照)。常設展示室では楽しんで展示を巡る「ブラック・コン吉を探せ!」を行う。さらに、体験学習室を中心に各種講座を開催する(詳細は夏休みわくわく講座参照)。				
〈ねらい〉 夏休みの自由研究の宿題につながる催し物とする。			〈対 象〉 小中学生とその家族	
〈備 考〉				

3. 講座・講演会

★ 一般向け講座 27講座 34回

No.	事業名	開催予定日	会場	定員	担当
1	第36回新聞から読む考古学— 2020年を振り返る—	5月8日(土)・9日(日) 計2回	会議室	各24名	鈴木
〈概 略〉					

新聞をにぎわす考古学に関する記事の中から、これは！と思う記事をピックアップし、解説する講座。今回はコロナで開催できなかった2020年の記事を取り上げる。					
〈ねらい〉 考古学の世界を楽しみ、理解を深める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座。両日同じ内容。					
2	歩く勉強会～リチギにたどる区界2	5月15日(土)	体験学習室 野外	20名	久保埜
〈概 略〉 北区の区界の一部を歩いてたどりながら、周辺地域の風景や暮らしの変遷を解説する。今回は昭和町～堀船を歩く。					
〈ねらい〉 現地を訪ねることで地域への関心と理解を深める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座					
3	北区遺跡学講座 2021「志茂遺跡・熊野神社遺跡」	5月22日(土)	会議室 野外	20名	牛山
〈概 略〉 区内の1遺跡を詳しく解説するシリーズ講座。博物館で座学を行ったのちに、現地を見学する。今回は志茂遺跡と熊野神社遺跡を合わせて訪れる。					
〈ねらい〉 区内遺跡や考古資料への理解や関心を高める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座					
4	北区文化財めぐり－王子編－	5月28日(金)	体験学習室 野外	20名	山口 田中
〈概 略〉 飛鳥山周辺に所在する区・都・国指定文化財を中心に現地で解説を行う。見学は飛鳥山碑・旧渋沢家飛鳥山邸・旧醸造試験所第一工場・王子神社等を予定。					
〈ねらい〉 指定文化財に対する周知を図ることで、文化財保護への関心を高める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座					
5	北区文化財めぐり－西ヶ原編－	6月12日(土)	体験学習室 野外	20名	山口 田中
〈概 略〉					

飛鳥山周辺に所在する区・都・国指定文化財を中心に現地で解説を行う。見学は西ヶ原一里塚・七社神社・城官寺・旧古河庭園等を予定。					
〈ねらい〉 指定文化財に対する周知を図ることで、文化財保護への関心を高める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座					
6	文献から知る北区の古代史	6月20日(日)	体験学習室	20名	谷口
〈概 略〉 北区の古代史の流れを振り返りながら、その中でも豊島郡衙について文献からひも解き解説する。					
〈ねらい〉 豊島郡衙を文献史学から見ることで、古代史に関する関心を深める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 新規講座					
7	浮世絵×コミュニケーション 対話型鑑賞のすゝめ	6月26日(土)	体験学習室	20名	工藤
〈概 略〉 近年、ビジネスの分野でも注目される対話型鑑賞を取り入れた講座。収蔵資料を用いて、資料をよく観察しながら発見や感想、疑問などを話し合うことを通じて鑑賞を深め、洞察力や批判的思考力、コミュニケーション力、主体的に学ぶ力を養う。					
〈ねらい〉 対話型鑑賞という鑑賞法を用いて、講座参加者に主体的・対話的で深い学びを促す。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座					
8	第37回新聞から読む考古学－ 2021年上半期を振り返る－	7月3日(土)・4日(日) 計2回	会議室	各24名	鈴木
〈概 略〉 新聞をにぎわす考古学に関する記事の中から、これは！と思う記事をピックアップし、解説する講座。今回は2021年上半期の記事を取り上げる。					
〈ねらい〉 考古学の世界を楽しみ、理解を深める。			〈対 象〉 一般		
〈備 考〉 継続講座。両日同じ内容。					
9	助一郎日記を読む1 明治43年の荒川洪水	9月4日(土)	会議室	20名	田中

<p>〈概 略〉</p> <p>2021年3月に刊行の「高木助一郎日記調査報告書2」を使って、明治43年の洪水被害についての記述を読み、北区でどのような被害があったのか、どのように対策したのかを講義する。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>指定文化財である「高木助一郎日記」の活用。資料（日記）を読む楽しさを伝える。十条地域の富士講活動について知る。荒川改修の引き金にもなった水害被害について知る。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座</p>					
10	東京9区文化財古民家めぐり「旧松澤家住宅説明会」	10月2日（土）午前・午後 計2回	北区ふるさと農家体験館	各回30名	山口
<p>〈概 略〉</p> <p>北区ふるさと農家体験館運営協議会と共同で見学会を行う。ふだん見ることができない屋根裏も公開。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>古民家に対する理解を促進し、ふるさと農家体験館の周知を図る。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座</p>					
11	『万葉集』からたどる人々のくらし	10月9日（土）	体験学習室	15名	谷口
<p>〈概 略〉</p> <p>豊島郡上丁椋椅部荒虫之妻宇遅部黒女の歌を筆頭に、『万葉集』に残る様々な歌を見ることで、古代の庶民の暮らしをたどる。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>民衆の様子を歌で記した『万葉集』を読み解くことで、当時の豊島郡の民衆の暮らしへの理解を深める。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座</p>					
12	文化財公開事業「稲付の餅搗き唄」の実演と体験	10月11日（月・祝）	北区ふるさと農家体験館	100名	山口
<p>〈概 略〉</p> <p>区指定無形民俗文化財の「稲付の餅搗唄」の実演を継承地域の付近の体験館で実施する。併せて、見学者にも実際に餅を搗いてもらう。地元の西が丘小の児童に参加してもらうことで、土地に伝わる伝統芸能についての小学校への取り組みを区民等に知ってもらう。</p>					

<p>〈ねらい〉 区指定無形民俗文化財「稲付の餅搗唄」の周知を図り、文化財啓発を図る。また、西が丘小、赤羽商業高校等の参加を促し、次世代への文化財継承の一助とする。</p>		<p>〈対 象〉 一般</p>			
<p>〈備 考〉 継続講座</p>					
13	オンデマンド講座 守貞謄稿でみる〈江戸時代の家の中〉	10月16日(土)	会議室	24名	工藤
<p>〈概 略〉 江戸時代のモノ資料に関する百科事典である『守貞謄稿』を題材に、当時の生活史を明らかにする。</p>					
<p>〈ねらい〉 道具の使い方について江戸と大坂を対比しつつ解説をし、歴史学と民俗学をモノでつなく講座とする。</p>		<p>〈対 象〉 一般</p>			
<p>〈備 考〉 新規講座。講座を動画撮影し、YouTubeにupする。</p>					
14	歩く勉強会～『王子詣』をたどる	10月30日(土)	体験学習室 野外	20名	久保埜
<p>〈概 略〉 東書文庫所蔵の往来物『王子詣』の記述に沿って、神田から王子までを歩く。</p>					
<p>〈ねらい〉 現地を訪ねることで地域への関心と理解を深める。</p>		<p>〈対 象〉 一般</p>			
<p>〈備 考〉 継続講座</p>					
15	文化財講演会「銭湯建築と文化」	11月3日(水・祝)	北とびあ研 修室	60名	山口
<p>〈概 略〉 東京型銭湯建築の特徴や銭湯経営の暮らし方や銭湯文化などについて講演。</p>					
<p>〈ねらい〉 登録有形文化財に登録された稲荷湯を念頭に、銭湯と地域の移り変わりなどを伝える。</p>		<p>〈対 象〉 一般</p>			
<p>〈備 考〉 継続講座。外部講師未定。</p>					
16	北区遺跡学講座 2021「未定」	11月6日(土)	会議室 野外	20名	牛山
<p>〈概 略〉 北区内の1遺跡を詳しく解説するシリーズ講座。博物館で座学を行ったのちに、現地を見学する。見学地は未定。</p>					

<ねらい> 区内遺跡や考古資料への理解や関心を高める。		<対 象> 一般			
<備 考> 継続講座					
17	北区文化財めぐりー滝野川編ー 新選組とテルマエ・ロマエ、滝野 川の旧中山道を歩く	11月14日(日)	野外	20名	田中
<概 略> 滝野川地域に所在する文化財をめぐり、現地で解説を行う。見学は板橋宿跡、近藤勇と新選組隊士 供養塔、中山道三軒家、稲荷湯、亀の子たわし、千川上水分配碑、土地区画整理碑を予定。					
<ねらい> 指定文化財に対する周知を図ることで、文化財保護への関心を高 める。		<対 象> 一般			
<備 考> 継続講座					
18	歩けばワカル「渋沢栄一」ー東京 養育院に関わった、明治から昭和 の50年ー	11月19日(金)	野外	24名	石倉
<概 略> 一般に渋沢栄一の社会福祉事業への積極的な参画は、実業界引退後の大正中期以降とみなされてい る。しかし、栄一は明治12年以来、没年に至るまで養育院事業に傾注した経歴をもつ。まさに社会 問題への関心は彼の事業の根幹にあったといえる。本講座は、渋沢の終生変わらぬ社会への視点を辿 り、その先駆性を改めて検討するものである。東京都老人医療センターの渋沢栄一コーナーの見学も 含む。					
<ねらい> 渋沢栄一ドラマ館で示される人間・渋沢のスケールの大きさを、 具体的な事業面から検証し、ドラマをより愉しむことができるよう な情報提供を行う。		<対 象> 一般			
<備 考> 新規講座					
19	考古楽講座 遺跡に行こう！秋	11月27日(土)・28 日(日) 全2回	会議室 野外	24名	鈴木
<概 略> 各地に残る遺跡を訪ね、体感する講座。探訪先は未定。					
<ねらい> 考古学への関心を高める。参加者同士の交流をはかり、友の会の ような団体への発展を促す。		<対 象> 一般			

<p>〈備考〉 継続講座。「区民との協働」を視野にいれ、サポーターの方々と事前の実地踏査、当日の見学会までを行う。</p>					
20	北区遺跡学講座 2021「未定」	12月11日(土)	会議室 野外	20名	高坂
<p>〈概略〉 区内の1遺跡を詳しく解説するシリーズ講座。博物館で座学を行ったのちに、現地を見学する。見学地は未定。</p>					
<p>〈ねらい〉 区内遺跡や考古資料への理解や関心を高める。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 継続講座</p>					
21	比べよう！オビシャ行事	1月13日(木)・2月7日(月)全2回	体験学習室 野外	10名	工藤
<p>〈概略〉 少人数の調査グループとなり、北区志茂の白酒祭と新宿区のオビシャ行事を見学する。</p>					
<p>〈ねらい〉 参加者が主体となり調査を行うことで、区内の祭礼への理解を深める。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 新規講座</p>					
22	助一郎日記を読む2 お富士さんの変遷と明治44年の富士登山 明治43年の荒川洪水	1月22日(土)	会議室	20名	田中
<p>〈概略〉 2021年3月に刊行する「高木助一郎日記調査報告書2」を使って、明治末から昭和20年代までの十条富士塚での祭礼「お富士さん」の変化と、明治44年の富士登山について講義する。</p>					
<p>〈ねらい〉 指定文化財である「高木助一郎日記」の活用。資料(日記)を読む楽しさを伝える。十条地域の富士講活動について知る。荒川改修の引き金にもなった水害被害について知る。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>		
<p>〈備考〉 新規講座</p>					
23	第38回新聞から読む考古学— 2021年下半期を振り返る—	1月29日(土)・30日(日)計2回	会議室	各24名	鈴木

<p>〈概 略〉</p> <p>新聞をにぎわす考古学に関する記事の中から、これは！と思う記事をピックアップし、解説する講座。今回は 2021 年下半期の記事を取り上げる。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>考古学の世界を楽しみ、理解を深める。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。両日同じ内容。</p>					
24	音盤に刻まれた時代～北区にちなんだ楽曲	2月19日(日)	講堂	30名	久保埜
<p>〈概 略〉</p> <p>「飛鳥山音頭」など戦前戦後に作られた北区域を題材にした楽曲の存在を紹介し、楽曲が作られた時代背景などについてお話しする。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>地域の変遷について関心を深める。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座</p>					
25	考古楽講座〈中級編〉考古学を学ぶー衣の考古学ー	2月26日(土)	講堂	40名	鈴木
<p>〈概 略〉</p> <p>衣食住の中から原始古代の衣について解説をする。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>遺跡や遺物への理解や関心を高める。新規来館者の獲得。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座</p>					
26	『将門記』からひも解く武士たち	3月5日(土)	体験学習室 野外	15名	谷口
<p>〈概 略〉</p> <p>中世の北区において活躍した武士団たちの源流である、古代(平安末期)の武士たちの様子を、彼らについて如実に記した軍記物語、『将門記』を用いて解説するとともに、本書の主人公である平将門や古代の武士ゆかりの地をめぐる。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>古代の武士たちを資料ならびに関係する場所をめぐることで、中世活躍する武士団へのさらなる理解を深める。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座。</p>					
27	考古楽講座 遺跡に行こう！春	3月20日(日)・21日(月・祝) 全2回	講堂 野外	24名	鈴木

<概 略> 各地に残る遺跡を訪ね、体感する講座。探訪先は未定。	
<ねらい> 考古学への関心を高める。参加者同士の交流をはかり、友の会のような団体への発展を促す。	<対 象> 一般
<備 考> 継続講座。「区民との協働」を視野にいれ、サポーターの方々と事前の実地踏査、当日の見学会までを行う。	

★展示関連講座 10 講座 11 回

No.	事業名	開催予定日	会場	定員	担当
1	飛鳥山に暮せば 渋沢栄一と北区①	6月19日(土)	常設展示室	10名	石倉
<概 略> 本講座は、常設展示室内に設置したパネル展示を中心に、渋沢栄一の飛鳥山邸での地域との交流、一里塚等の史跡保存運動、音無橋架橋、滝乃川学園などへの協力など、北区地域における渋沢の動向を紹介するミニ講座である。また、講座冒頭に大河ドラマ「青天を衝け」近接放映回の時代背景や同時期の北区の歴史に言及し、大河ドラマ・マニアの興味関心を喚起するものとする。					
<ねらい> ドラマ館観覧者を、常設展示へ誘引を図るため実施。地域外の観覧者に対し、北区の魅力も同時に発信するものとする。			<対 象> 一般		
<備 考> 新規講座。当日先着順。					
2	飛鳥山に暮せば 渋沢栄一と北区②	8月14日(土)	常設展示室	10名	石倉
<概 略> 本講座は、常設展示室内に設置したパネル展示を中心に、渋沢栄一の飛鳥山邸での地域との交流、一里塚等の史跡保存運動、音無橋架橋、滝乃川学園などへの協力など、北区地域における渋沢の動向を紹介するミニ講座である。また、講座冒頭に大河ドラマ「青天を衝け」近接放映回の時代背景や同時期の北区の歴史に言及し、大河ドラマ・マニアの興味関心を喚起するものとする。					
<ねらい> ドラマ館観覧者を、常設展示へ誘引を図るため実施。地域外の観覧者に対し、北区の魅力も同時に発信するものとする。			<対 象> 一般		
<備 考> 新規講座。当日先着順。					
3	特別展覧会付帯事業「鍛金体験講座」	9月18日(土) 午前・午後 計2回	体験学習室	各回8名	久保埜

<p>〈概 略〉</p> <p>工芸技術への理解と作品の鑑賞力をより高めることを目的として、人間国宝・奥山峰石氏または鍛金作家を講師に迎えて、金属のストラップなどを製作する。午前・午後の2回（同じ内容）。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>美術や工芸に関心がある層の来館を促す。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。日程変更の可能性あり。出展者全体会議において実施可否を決定。</p>					
4	特別展覧会付帯事業「陶芸に親しみ学ぶ講座」	9月20日（月・祝）	体験学習室	12名	久保埜
<p>〈概 略〉</p> <p>工芸技術への理解と作品の鑑賞力をより高めることを目的として、工芸作家展に参加する作家のうち1名を講師に迎えて、製作工程や技術に関して学びながら実際に作品を製作する。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>美術や工芸に関心がある層の来館を促す。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。日程変更の可能性あり。出展者全体会議において実施可否を決定。</p>					
5	特別展覧会付帯事業「金工に親しみ学ぶ講座」	9月23日（木・祝）	体験学習室	6名	久保埜
<p>〈概 略〉</p> <p>工芸技術への理解と作品の鑑賞力をより高めることを目的として、工芸作家展に参加する作家のうち1名を講師に迎えて、製作工程や技術に関して学びながら実際に作品を製作する。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>美術や工芸に関心がある層の来館を促す。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>継続講座。日程変更の可能性あり。出展者全体会議において実施可否を決定。</p>					
6	飛鳥山に暮せば 渋沢栄一と北区③	9月25日（土）	常設展示室	10名	石倉
<p>〈概 略〉</p> <p>本講座は、常設展示室内に設置したパネル展示を中心に、渋沢栄一の飛鳥山邸での地域との交流、一里塚等の史跡保存運動、音無橋架橋、滝乃川学園などへの協力など、北区地域における渋沢の動向を紹介するミニ講座である。また、講座冒頭に大河ドラマ「青天を衝け」近接放映回の時代背景や同時期の北区の歴史に言及し、大河ドラマ・マニアの興味関心を喚起するものとする。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>ドラマ館観覧者を、常設展示へ誘引を図るため実施。地域外の観覧者に対し、北区の魅力も同時に発信するものとする。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座。当日先着順。</p>					

7	飛鳥山に暮せば 渋沢栄一と北 区④	10月23日(土)	常設展示室	10名	石倉
<p>〈概 略〉</p> <p>本講座は、常設展示室内に設置したパネル展示を中心に、渋沢栄一の飛鳥山邸での地域との交流、一里塚等の史跡保存運動、音無橋架橋、滝乃川学園などへの協力など、北区地域における渋沢の動向を紹介するミニ講座である。また、講座冒頭に大河ドラマ「青天を衝け」近接放映回の時代背景や同時期の北区の歴史に言及し、大河ドラマ・マニアの興味関心を喚起するものとする。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>ドラマ館観覧者を、常設展示へ誘引を図るため実施。地域外の観覧者に対し、北区の魅力も同時に発信するものとする。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座。当日先着順。</p>					
8	飛鳥山に暮せば 渋沢栄一と北 区⑤	11月13日(土)	常設展示室	10名	石倉
<p>〈概 略〉</p> <p>本講座は、常設展示室内に設置したパネル展示を中心に、渋沢栄一の飛鳥山邸での地域との交流、一里塚等の史跡保存運動、音無橋架橋、滝乃川学園などへの協力など、北区地域における渋沢の動向を紹介するミニ講座である。また、講座冒頭に大河ドラマ「青天を衝け」近接放映回の時代背景や同時期の北区の歴史に言及し、大河ドラマ・マニアの興味関心を喚起するものとする。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>ドラマ館観覧者を、常設展示へ誘引を図るため実施。地域外の観覧者に対し、北区の魅力も同時に発信するものとする。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座。当日先着順。</p>					
9	飛鳥山に暮せば 渋沢栄一と北 区⑥	12月18日(土)	常設展示室	10名	石倉
<p>〈概 略〉</p> <p>本講座は、常設展示室内に設置したパネル展示を中心に、渋沢栄一の飛鳥山邸での地域との交流、一里塚等の史跡保存運動、音無橋架橋、滝乃川学園などへの協力など、北区地域における渋沢の動向を紹介するミニ講座である。また、講座冒頭に大河ドラマ「青天を衝け」近接放映回の時代背景や同時期の北区の歴史に言及し、大河ドラマ・マニアの興味関心を喚起するものとする。</p>					
<p>〈ねらい〉</p> <p>ドラマ館観覧者を、常設展示へ誘引を図るため実施。地域外の観覧者に対し、北区の魅力も同時に発信するものとする。</p>			<p>〈対 象〉</p> <p>一般</p>		
<p>〈備 考〉</p> <p>新規講座。当日先着順。</p>					

10	企画展講座「王子、ビジターズアイ」第1回	3月26日(土)	講堂(企画展上映コーナー)	15名	石倉
<p>〈概 略〉 展示の見どころを3つの話題を通じて紹介。第1回は、「英国人プラントハンターの見聞記と縁したる王子」について。</p>					
<p>〈ねらい〉 展示理解を深める。</p>			<p>〈対 象〉 一般</p>		
<p>〈備 考〉 新規講座。第2回・第3回は令和4年度に実施。</p>					

★ 夏休みわくわく講座 9講座 26回

No.	事業名	開催予定日	会場	定員	担当
1	夏休み土器づくり教室	7月21日(水)・27日(火)・9日(月・祝)・17日(火) 計4回	体験学習室	各回 8組 16名	鈴木
<p>〈概 略〉 縄文人と同じ輪積み技法で小さいサイズ(1kg)の縄文土器を作る。</p>					
<p>〈ねらい〉 当時と同じ方法で作ることで、その苦労や工夫を知ってもらい、歴史に興味を持ってもらう。親子で参加することでふれあいの場とする。</p>			<p>〈対 象〉 小学3年生~中学生と保護者の2名1組</p>		
<p>(備 考) 継続講座。親子で1つの土器を作る。</p>					
2	昔のおもちゃを作ろう	7月25日・8月8日 各(日) 計2回	体験学習室	各回 12名	久保埜
<p>〈概 略〉 昔ながらのおもちゃ(こま、風ぐるま等)を手作りしながら、昔の子どもの遊びや暮らしを紹介する。</p>					
<p>〈ねらい〉 工作を通して、昔の暮らしに興味をもってもらう。</p>			<p>〈対 象〉 小学生と保護者の2名1組</p>		
<p>〈備 考〉 継続講座。</p>					
3	和のデザインで団扇作り	7月28日(水)・29日(木) 計2回	体験学習室	※	田中
<p>〈概 略〉 団扇が江戸時代から身近な道具であったこと、自分で紙を張り替えて使っていたことを説明したの</p>					

ち、骨に紙を貼って団扇をつくり、千鳥・流水・菱など、和の模様を使った切絵で団扇をつくる。					
〈ねらい〉 昔の人は道具（団扇）を修理しながら大切に使用していたことを伝える。自分だけの団扇をすることで、モノづくりの楽しさを知ってもらう。			〈対 象〉 4日：小学3年生～中学生と保護者の2名1組 5日：小学3年生～中学生		
〈備 考〉 継続講座。※28日は8組16名。29日は子供のみ16名。					
4	はくぶつかん探検隊	7月30日（金）・8月18日（水）各AM・PM 計4回	体験学習室 館内	各回 7名	谷口
〈概 略〉 普段は入れない博物館のバックヤードを担当学芸員の案内で探検する。最後に学芸員の仕事でもある資料調査を、資料をスケッチすることで実際に体験する。					
〈ねらい〉 博物館に愛着を持ってもらう。博物館への理解を深める。			〈対 象〉 小中学生		
〈備 考〉 継続講座。					
5	夏休み勾玉づくり教室	7月31日（土）・8月6日（金）・15日（日）・19日（木）・24日（火）計5回	体験学習室	各回 8組16名	鈴木
〈概 略〉 区内でも出土している勾玉を、当時と同じように作る。石は「青田石」を予定。					
〈ねらい〉 当時と同じ方法で作ることで、その苦労や工夫を知ってもらい、歴史に興味を持ってもらう。親子で参加することでふれあいの場とする。			〈対 象〉 小学3年生～中学生と保護者の2名1組		
〈備 考〉 継続講座。保護者も製作可。					
6	江戸時代のミニキッチンをつくろう！	8月1日（日）・8月20日（金）計2回	体験学習室	各回 10名	谷口
〈概 略〉 館所蔵のおもちゃ絵「おかまへっついおはちおぜんこしらい」に描かれた昔の調理道具を絵に描かれた指示の通りに作る。なお、あわせて描かれた道具の実物資料を当館収蔵品で観察し、その使い方を学びながら作る。					
〈ねらい〉 「遊んで学べる」という趣旨のもとに描かれた当時の子供たちも			〈対 象〉 小学校5・6年生～中学生		

遊んであろうものを実際に体験することで、江戸文化について楽しく学ぶ。					
〈備考〉 新規講座。					
7	チャレンジ！昔の手仕事～藍染	8月4日（水）・5日（木）・12日（木）・13日（金） 計4回	体験学習室	各回 24名	久保埜
〈概略〉 親子を対象に、藍染の歴史を学びながら、絞り染めのハンカチを作る。					
〈ねらい〉 低年齢層の利用を促す。			〈対象〉 小学生2名までと保護者1名の2～3名1組		
〈備考〉 継続講座					
8	親子で浮世絵鑑賞教室	8月7日・21日各（土） 計2回	体験学習室	各回 20名	工藤
〈概略〉 当館所蔵の浮世絵を用いて、資料をよく観察しながら発見や感想、疑問などを話し合う、コミュニケーションを通じて鑑賞を深める。					
〈ねらい〉 対話型鑑賞という鑑賞法を用いて、講座参加者に主体的・対話的で深い学びを促す。			〈対象〉 小中学生とその保護者		
〈備考〉 継続講座					
9	牛乳パックで行燈づくり	8月11日（水）	北区ふるさと農家体験館	16組 32名	山口
〈概略〉 牛乳紙パックと豆電球を使って、昔の灯りの道具・行燈を作る。完成後は古民家で昔の暗さを感じつつ、灯りをともす。					
〈ねらい〉 昔の明かりの明るさを体験してもらおう。北区ふるさと農家体験館の周知。			〈対象〉 小学3年生～中学生と保護者の2名1組		
〈備考〉 継続講座。					

4. 学校対応・支援事業

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	来て、見て、知って！昔の道具	1月12日(水)～ 2月25日(金)	アートギャラリー 第1室・体験学習室・閲覧 コーナー・館外	谷口 鈴木
<p>〈概 略〉 小学校中学年の「むかしをしらべる」の単元に対応する事業。館所蔵の大正の終わりころから昭和の中ごろの生活用具を展示し、調べ学習を行う。また、昔の道具（既製品）を使う体験事業（かまど体験・せんたく体験を予定）とセットで行う。</p>				
<p>〈ねらい〉 昔の人々の暮らしぶりの理解と時代の変化を学ぶ機会とする。</p>			<p>〈対 象〉 区内小学校中学年</p>	
<p>〈備 考〉 体験事業は新型コロナウイルスの状況をみて実施する。</p>				
2	体験授業（考古学）	通年（依頼に応じて実施）	体験学習室	鈴木
<p>〈概 略〉 土器作りや勾玉作りを当時と同じ方法で行う。</p>				
<p>〈ねらい〉 大昔の人の技術や工夫を学ぶ。</p>			<p>〈対 象〉 区内小学校6年生</p>	
<p>〈備 考〉 新型コロナウイルスの状況をみて実施する。</p>				
3	出張授業	通年（依頼に応じて実施）	依頼先学校	学芸員
<p>〈概 略〉 北区の歴史や自然、民俗に関することを学校に赴き授業を行う。</p>				
<p>〈ねらい〉 北区の歴史や自然、民俗についての理解を深める。</p>			<p>〈対 象〉 区内の小学校・中学校・ 高等学校</p>	
<p>〈備 考〉 内容によって担当学芸員を決定。新型コロナウイルスの状況をみて実施する。</p>				
4	職場訪問・体験	通年（依頼に応じて実施）	館内各所	久保埜 工藤
<p>〈概 略〉 博物館の業務に関して話をしたり、体験してもらう。</p>				
<p>〈ねらい〉 博物館の業務の理解を深めてもらう。</p>			<p>〈対 象〉 区内の中学校・高等学校</p>	

〈備考〉

担当は窓口。新型コロナウイルスの状況のみて実施する。

5. 学芸員実習

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	博物館実習	7月27日(火)～8月8日(日)	館内	鈴木
〈概略〉 準職員として本館学芸員とともに日常の博物館業務に携わる。子ども向け事業の準備および実施のアシスタントや館蔵資料の整理作業などを行う。				
〈ねらい〉 学芸員の仕事を実際に行い、体験することで理解を深める。			〈対象〉 大学等で学芸員養成課程を受講している人	
〈備考〉 3月に募集をかけ、最大4名を受け入れ。担当は窓口。				
2	見学実習	通年(依頼に応じて実施)	館内	鈴木 石倉 久保埜
〈概略〉 一般の人が普段はいることができないバックヤードを含めた館内を見学し、学芸員が解説する。				
〈ねらい〉 博物館の実態を知ってもらう。			〈対象〉 学芸員養成課程を開講している大学	
〈備考〉 新型コロナウイルスの状況のみて実施する。				

6. 出張事業

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	回想法プログラム「昔の道具で思い出がたり」	通年(依頼に応じて実施)	依頼機関	久保埜 工藤
〈概略〉 博物館が所蔵する古い生活道具を通して、昔の記憶をたどるプログラム。依頼のあった施設まで資料を携えて赴き、資料を見て、触れて、思い出を語ってもらう。				
〈ねらい〉 博物館資料の活用。博物館の社会への有用性を探る。			〈対象〉 高齢者介護施設など	

<p>〈備考〉 新型コロナウイルスの状況をみて実施する。</p>				
2	一般講義	通年（依頼に応じて実施）	依頼機関 講堂 体験学習室	学芸員
<p>〈概略〉 外部機関からの依頼に応じて講義を行う。</p>				
<p>〈ねらい〉 依頼機関への協力。博物館のPR。</p>			<p>〈対象〉 一般</p>	
<p>〈備考〉 当館で行う場合でも外部依頼の場合はこれに含む。講堂が使えないので、体験学習室で行える人数のみ。新型コロナウイルスの状況をみて実施する。</p>				

7. 団体見学

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	一般見学	通年（依頼に応じて実施）	常設展示室	鈴木
<p>〈概略〉 常設展示室の団体見学の受け入れ。解説を希望の場合は内容に応じて各学芸員が行う。</p>				
<p>〈ねらい〉 北区の歴史や自然、文化を知ってもらう。解説はその理解を深め、楽しみ親しんでもらう。</p>			<p>〈対象〉 一般団体</p>	
<p>〈備考〉 担当は窓口。内容に応じて各学芸員が対応。新型コロナウイルスの状況をみて実施する。</p>				
2	学校等見学	通年（依頼に応じて実施）	常設展示室	鈴木
<p>〈概略〉 常設展示室の団体見学の受け入れ。解説を希望の場合は内容に応じて各学芸員が行う。</p>				
<p>〈ねらい〉 北区の歴史や自然、文化を知ってもらう。解説はその理解を深め、楽しみ親しんでもらう。</p>			<p>〈対象〉 幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校・専門学校・大学校</p>	
<p>〈備考〉 担当は窓口。新型コロナウイルスの状況をみて実施する。</p>				

8. 資料の貸出・利用

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	資料の貸出	通年（依頼に応じて実施）	—	久保埜 鈴木
〈概 略〉 館蔵資料を貸し出す。				
〈ねらい〉 他館等への協力。博物館のPR。			〈対 象〉 博物館・研究機関・学校 など	
〈備 考〉				
2	資料の利用	通年（依頼に対して実施）	—	久保埜 鈴木
〈概 略〉 館蔵資料の撮影や画像データの提供などを行う。また、研究目的での資料の調査等へ協力する。				
〈ねらい〉 個人や会社などへの協力。博物館のPR。			〈対 象〉 個人・博物館・学校・会 社 など	
〈備 考〉				

9. 資料の収集

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	資料の寄贈	通年（依頼に応じて実施）	—	久保埜
〈概 略〉 北区やその周辺地域に関する資料等の寄贈を受け入れる。				
〈ねらい〉 地域資料の保護と活用。			〈対 象〉 一般	
〈備 考〉				
2	資料の購入	通年（必要ならびに現出に に応じて実施）	—	学芸員
〈概 略〉 北区やその周辺地域に関する資料等を購入する。				
〈ねらい〉 地域資料の保護と活用。			〈対 象〉 古美術店・古書店 など	

〈備考〉

10. 資料の保全

No.	事業名	実施予定時期	会場	担当
1	環境調査	5月～6月	館内各所	久保埜
〈概略〉 虫害・カビの現状を把握するとともに、防除策を総合的に検討するため、全館を対象としたムシ・カビ・塵埃・温湿度を含む総合調査を実施する。				
〈ねらい〉 環境保全。			〈対象〉 館内	
〈備考〉				
2	燻蒸	令和4年3月5日(土)～ 11日(金)	特別収蔵庫 一般収蔵庫	久保埜 工藤
〈概略〉 館所蔵の博物館資料と、それらが収められている一般収蔵庫及び特別収蔵庫の施設について、殺虫、殺卵、殺カビ効果のある薬品を用いて燻蒸を行う。				
〈ねらい〉 資料の保全。			〈対象〉 各種資料	
〈備考〉 臨時休館日は3月8日(火)～10日(金)の予定。				